

『天国の門』はどんな人に開かれるのか？

増本能人

※フィレンツェ、サン・ジョヴァンニ洗礼堂『天国への門』 ロレンツォ・ギベルティ
(Lorenzo Ghiberti) 作

もう5年前になるだろうか、6年前なのか、実はあまりよく覚えていないし、今もよく思い出せない。とても寒く、ひどく疲れた日の夜遅く突然の病から、あの世に逝ったかと思いきや、天国の門の番人に入る事を許されずに、この世に引き戻されて眼を覚ました時から、私の「生き直し」がはじまりました。

多田富雄先生との出逢い

50歳で脳出血に倒れ、5年間病院のベッドで植物状態を勤め上げた父親と同じ病か、血は争えないなど、自らの運命に嘆きながら、喪失感とうつ病と自殺願望の中から、これからどうするか、生き残った者の使命と役割を考えはじめていました。そんななかで巡り逢ったのが、多田富雄先生の『寡黙なる巨人』でした。

脳と視線の動きと文章の意味や価値の判断に障害が残っていた私は、リハビリのつもりで文字を追いかける練習をはじめました。ゆっくりたどたどしく読み進む文字に涙が溢れてとまりませんでした。

・・・そう、そう、そうなんだよ！先生、わかるなあ、そうなんだよね！

「科学のないリハビリは百害あって一利なし」(70 p)

「それは、人間が歩く動物であるからだ。人類にとっては、歩くということが特別の意味を持っている。歩くというのは人間の条件なのだ。・・・歩けないというのは、それだけで人間失格なのだ。」(86 p)

「私は、一人で歩ける、歩いたのだ」(94 p)

「ありがとう。わすれないよ・・・一番つらいとき力を与えてくれた人だこの人の容赦のない指導がなかったら、今の自分はない。」(96 p)

「・・・さあ、寡黙な巨人、君と一緒に生きて行こう、・・・どんな運命も一緒に生きて行こう。」(100 p)

「受苦ということは魂を成長させるが、気を許すと人格まで破壊される」(116 p)

「リハビリは単なる機能回復ではない。社会復帰を含めた人間の尊厳の回復である」(129 p)

挫けそうになったとき、諦めて投げ出しそうになったとき、口惜しくて一人泣き咽び泣くとき、運命の神様に愚痴をたれるとき、いつもいつでも多田先生の言葉が私の支えになっています。

社会の一構成員であることへのこだわり

リハビリして、退院して、何がしたいですか？何度も聞かれた質問でした。私の答えは「仕事がしたい、仕事にもどりたい」ただこの一点でした。

もともと働くことが好きで、他にやりたいことなんてありませんでした。単身生活で経済的事情もありましたから私には、明日のオマンマを自分で稼ぎ出すしかありませんでした。

「リハビリは社会復帰を含めた『人間の尊厳の回復』である」（多田先生）にもありますように、社会復帰の最も有効な手段は、たとえあちこち不便でも「働く」ことです。働いて、自分で生活し、自分で自分の税金を納められて、はじめて「社会の一構成員」である『人間の尊厳』を回復したかった。意地でもしたかったのです。そうしないと、天国の門の門番は入れてくれないとまで思い込んでいます。

セラピーさん、ご家族の方、支援にあたられる方へ

不自由を生きていらっしゃる方は、みんな神様の与えた運命に、試練に挑戦している「チャレンジャー」です。孤独だし、弱虫で、臆病で、毎日不安で、遅々としてリハビリの成果は見えてこないし、投げ出しそうになるし、医師も、セラピーも、家族も、誰も信じられなくなるし、今日もまた、孤独な夜はやってきます。

『言葉もて語ることなかれ、心もてはかることなかれ、言葉をも心をも放ちわすれて』講釈や理屈ではない、そのものズバリ、感性で感じなさい、と。学生時代の恩師 今は東北福祉大学の萩野浩基先生の言葉です。

TVで、長嶋さんは言うてました。「リハビリを信じなさい」と。リハビリを信じれば、治るとも良くなるとも言うてません。ただただ「信じなさい」とだけ。結果の見えてこないことは、誰も信じられないし信じたくはありません。

そこを、あえて、迷わず、「信じなさい」とまで言う長嶋さんは、練習また練習で身体で体得してこられたご経験から出る言葉でしょう。練習にあけくれるうちに道に倒れ、命は尽きるかもしれません。けど、私はこの言葉を信じたいと思います。なぜなら、天国の門番は、一生懸命に生きて、我が命を生き抜いた人に開く、まさにここを見ているからだと思うのです。

信じて、疲れます。人間は私も含めそれほど強くありません。そんな時は、思い出してください。私が入院していた病院のSTの部屋に先輩チャレンジャーが残してくれた言葉です。これからその季節です。

『つらきこと 哀しきことも 夢の間に かすみとなりて 春風ぞ吹く』 詠み人知らず

支えてくださった多くの方々に、感謝します。ありがとうございました。（止）